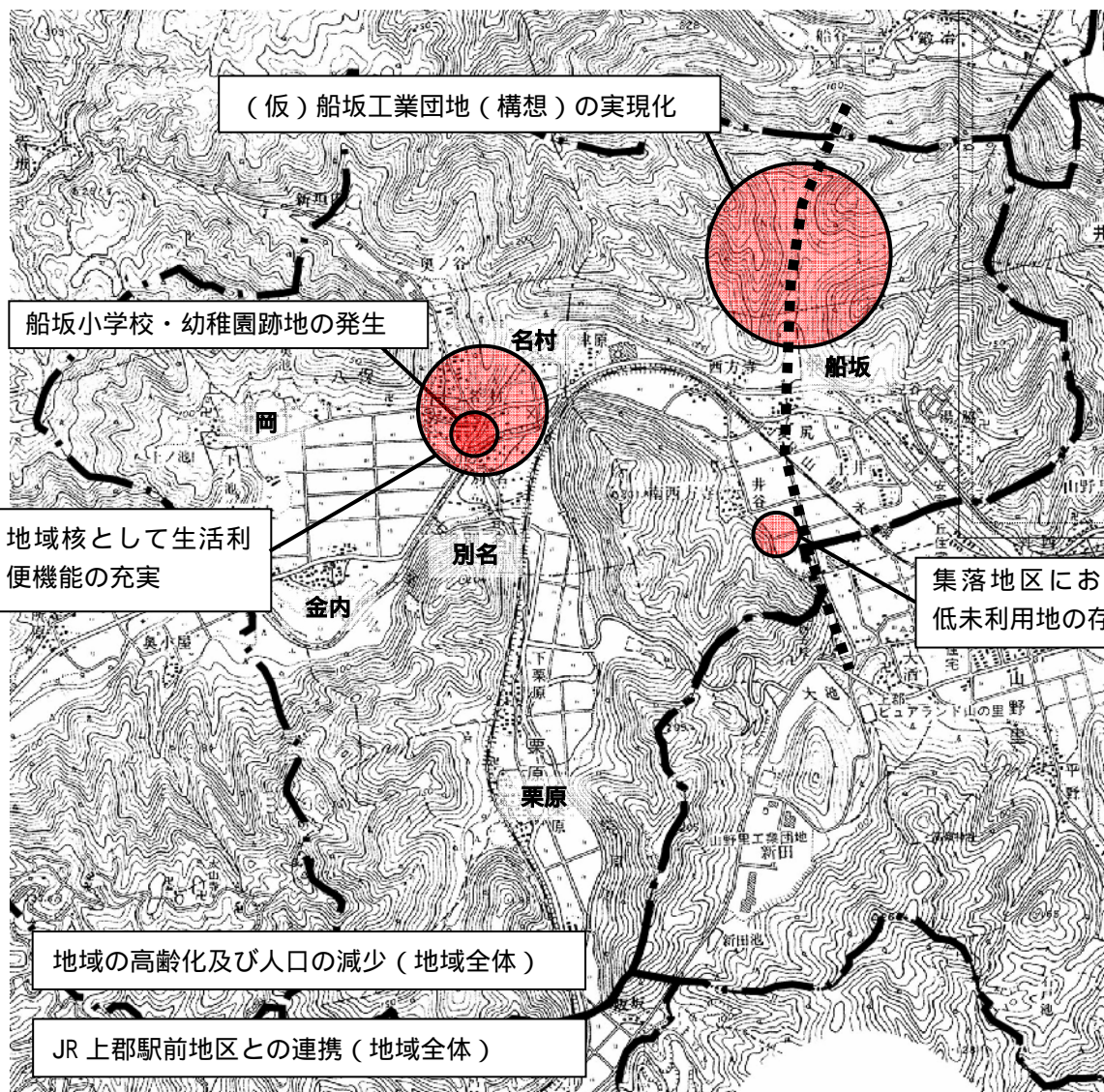


4 . 船坂地域		地域区分	市街化調整区域・農業振興地域																	
地域の現況																				
<p>船坂地域は、安室川と梨ヶ原川に沿って開けた地域で、集落が点在し、比較的大きな工場が立地している。</p> <p>上郡町の中心部を通り、岡山県へ通じる（主）赤穂佐伯線が東西方向に通っている。</p> <p>地域核は名村地区であるが、生活利便機能の集積が図られておらず、本町の中心核である JR 上郡駅前地区とを結ぶ公共交通がない。</p>																				
地域の特性																				
人口動向	人口は減少しているものの減少率は町内で最も低い。 (H21/H8 = 0.88)		<table border="1"> <caption>H21/H8</caption> <tr> <th>川西</th> <th>川東</th> <th>高田</th> <th>船坂</th> <th>梨ヶ原</th> <th>光都</th> <th>全体</th> </tr> <tr> <td>1.06</td> <td>0.74</td> <td>0.87</td> <td>0.88</td> <td>0.85</td> <td>2.17</td> <td>0.92</td> </tr> </table>				川西	川東	高田	船坂	梨ヶ原	光都	全体	1.06	0.74	0.87	0.88	0.85	2.17	0.92
川西	川東	高田	船坂	梨ヶ原	光都	全体														
1.06	0.74	0.87	0.88	0.85	2.17	0.92														
土地利用動向	市街化調整区域で農地が主である。 比較的規模の大きい工業系土地利用も見受けられる。																			
市街地整備	-																			
地区主要施設	都市計画施設	道路	-																	
		公園	-																	
	その他生活関連施設	鉄道駅	-																	
		公共施設 公共機関	船坂公民館、船坂小学校跡地、船坂幼稚園跡地																	
		公益施設	船坂郵便局																	
		歴史文化資源	( 県 ) 西方寺 ( 石造宝塔 ) ( 町 ) 鳳張古墳、( 他 ) 八保神社、( 他 ) 百膳神事																	
	景観資源	梨ヶ原川堤防の桜																		
地域住民の意向 (H21 年「将来のまちづくり計画策定に向けたアンケート調査」より)																				
住民意向	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の居住環境の満足度は高くないが、定住意向は強い。</li> <li>将来の保全意向は強いが、工業用地の増加意向は平均よりも高い。</li> </ul>																			
住み心地		地区	町平均	将来の土地利用		地区	町平均													
	満足	6.2%	6.2%		自然環境を保全	41.9%	35.7%													
	やや満足	11.6%	12.3%		商業地を増やす	20.4%	25.7%													
	やや不満	23.3%	25.4%		工業地を増やす	23.4%	19.2%													
不満	8.6%	11.2%	住宅地を増やす	20.0%	19.0%															
定住意向		地区	町平均	地域の将来像		地区	町平均													
	住み続けたい	43.4%	36.5%		健康福祉のまち	68.4%	68.1%													
	できれば住み続けたい	34.7%	37.1%		環境保全のまち	53.7%	52.2%													
	できれば移りたい	16.0%	20.1%		産業のまち	42.5%	39.2%													
他に移りたい	5.9%	6.3%	快適居住環境のまち	19.6%	26.1%															

### 地域の主要課題

- ・ 地域核として生活利便機能の充実
- ・ (仮) 船坂工業団地 (構想) の実現化
- ・ JR 上郡駅前地区との連携
- ・ 地域の高齢化及び人口の減少
- ・ 集落地区における低未利用地の存在
- ・ 船坂小学校・幼稚園跡地の発生

### 地域の主要課題図



【地域の将来目標】

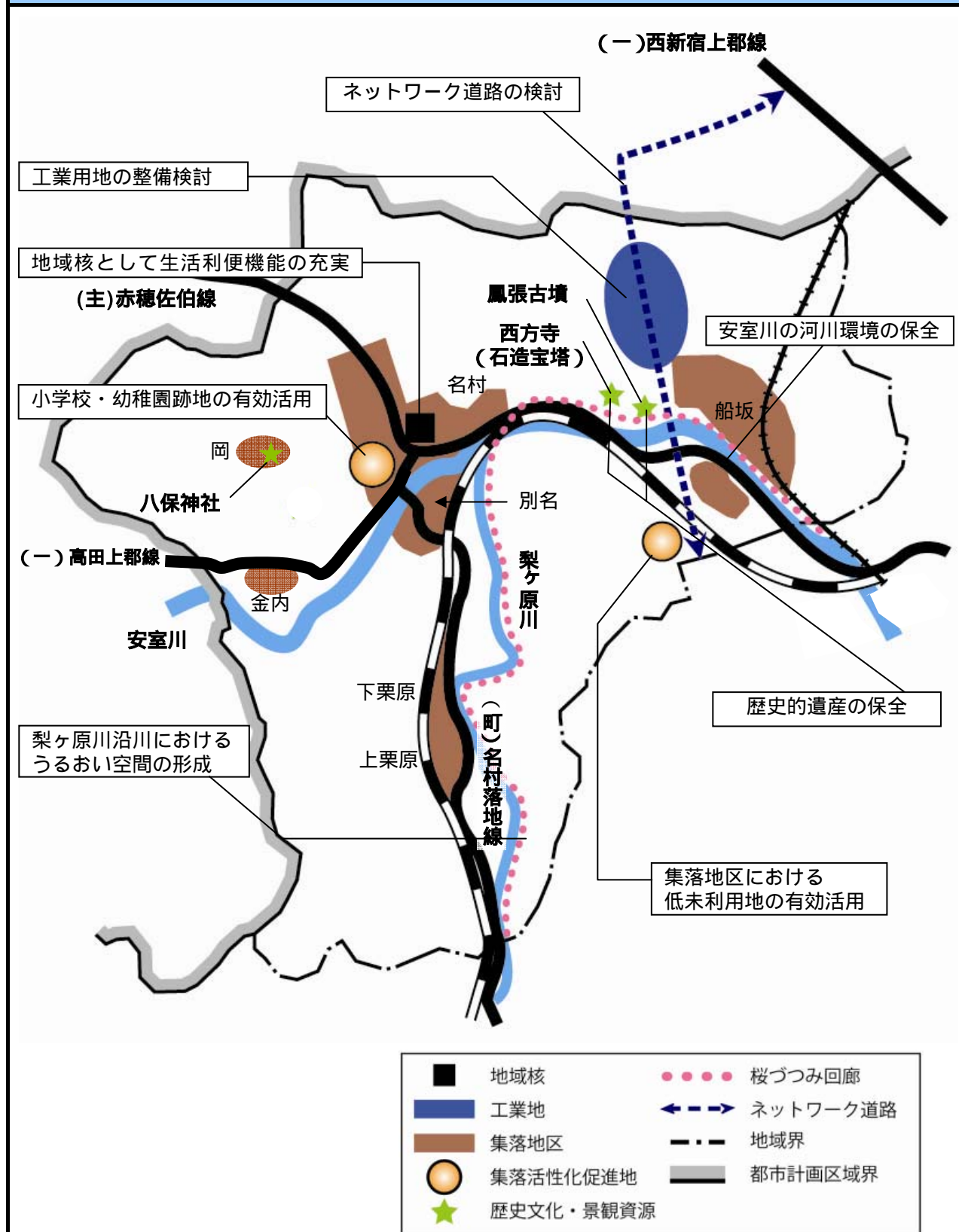
豊かな自然と先端産業が共存するまちの形成

基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業地の秩序ある計画的開発を目指すとともに、工業地の開発整備とあわせて環状道路の整備を目指す。</li> <li>・特別指定区域制度を活用し、地域の活性化に必要な用地を確保することにより、集落地区の活性化を目指す。</li> <li>・公共交通の導入など、本地域と JR 上郡駅前地区との有機的な連携を目指す。</li> </ul>
------	--

都市整備の方針

土地利用の方針	住宅地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落地区については、地域の活性化に必要な用地を確保することにより集落機能や集落人口の維持を目指す。なお、本地域における「集落地区」は次の自治会とする。 (船坂、名村、金内、岡、別名、上栗原、下栗原)</li> </ul>
	商業地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名村地区において、生活利便機能の充実を図り、地域核としての機能強化を図る。</li> </ul>
	工業地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船坂地域において、周辺環境に十分配慮した工業用地の整備を検討し、既存工場との相乗効果を図る。</li> <li>・船坂地域における工業用地の開発の際には、面的な都市基盤整備を行い、土地の高度利用を図るとともに、地域の振興を図る。</li> </ul>
都市施設整備の方針	道路交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(主)姫路上郡線と(主)赤穂佐伯線、及び(一)西新宿上郡線を連絡するネットワーク道路を検討する。</li> <li>・地域の生活利便性の向上を図るため、地域内生活道路の整備を促進するとともに、地域と JR 上郡駅前などを結ぶ公共交通の導入について検討する。</li> </ul>
	公園緑地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安室川・梨ヶ原川沿川は、「桜づつみ回廊」や四季の花の植栽により、水・緑・花が一体となった“うるおい”と“にぎわい”にあふれた空間を形成する。</li> <li>・人々が川とふれあえる魅力的な場の創出を推進する。</li> </ul>
	河川下水道	-
その他の方針	自然環境歴史的環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安室川・梨ヶ原川については、ホテルの生息環境の保全を図る。</li> <li>・安室川・梨ヶ原川流域や周辺山林、田園等の自然環境の保全を図る。</li> <li>・森林については、森林組合との連携を図りながら、適切な管理をするとともに、住民が森と緑を育てることで森林の保全意識の高揚を図り「災害に強い森づくり」を推進する。</li> <li>・鳳張古墳や西方寺の石造宝塔などの歴史的遺産の保全を図る。</li> </ul>
	景観形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梨ヶ原川については、桜並木とあわせ、夏場のホテル等の景観の保全を図る。</li> <li>・地域の山並みや田園風景、安室川の水辺空間を一体的な景観として保全と育成を図る。</li> </ul>
	都市防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の一時避難場所となる公園・広場の整備、充実を図る。</li> <li>・集落に近接し、山地災害の危険性が高い山腹崩壊危険地区、地すべり危険箇所などの整備を推進するとともに、開発行為の制限、指導・監視の強化に努める。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船坂小学校、船坂幼稚園の跡地及び集落地区における低未利用地については集落活性化促進地として位置づけ、地域の活性化に寄与する活用方法について検討を行う。</li> </ul>

まちづくり方針図



注) ■ は位置づけを示すもので具体的な位置を示すものではありません。

## 5. 梨ヶ原地域

地域区分

市街化調整区域・農業振興地域

### 地域の現況

梨ヶ原地域の土地利用は山林が多くを占め、平地は梨ヶ原川沿いの細長い地域であり、国道2号が通過する地域である。

地域核は梨ヶ原地区であるが、生活利便機能の集積が図られておらず、上郡町の中心核であるJR上郡駅前地区とを結ぶ公共交通がない。

また、地域の北西部には播磨自然高原がありゴルフ場や別荘地などが立地するレクリエーション用地が設定されている。

### 地域の特性

人口動向	人口は減少傾向にあり、川東地域に次いで減少率が高くなっている。(H21/H8 = 0.85)		<p>人</p> <p>梨ヶ原</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>人口</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H8年</td> <td>548</td> </tr> <tr> <td>H16年</td> <td>478</td> </tr> <tr> <td>H21年</td> <td>468</td> </tr> </tbody> </table>	年	人口	H8年	548	H16年	478	H21年	468
年	人口										
H8年	548										
H16年	478										
H21年	468										
土地利用動向	市街化調整区域で農地が主であるが、森林の占める割合が高い。										
市街地整備	-										
地区主要施設	都市計画施設	道路	-								
		公園	-								
	その他	鉄道駅	-								
	生活関連施設	公共施設	梨ヶ原公民館、梨ヶ原小学校跡地、梨ヶ原保育所								
		公共機関									
		公益施設	梨ヶ原簡易郵便局								
	歴史文化資源	(国)山陽道野磨駅家跡、(町)落地八幡神社(ムクノキ)(他)児島高德史跡									
	景観資源	-									

H21/H8

川西	川東	高田	船坂	梨ヶ原	光都	全体
1.06	0.74	0.87	0.88	0.85	2.17	0.92

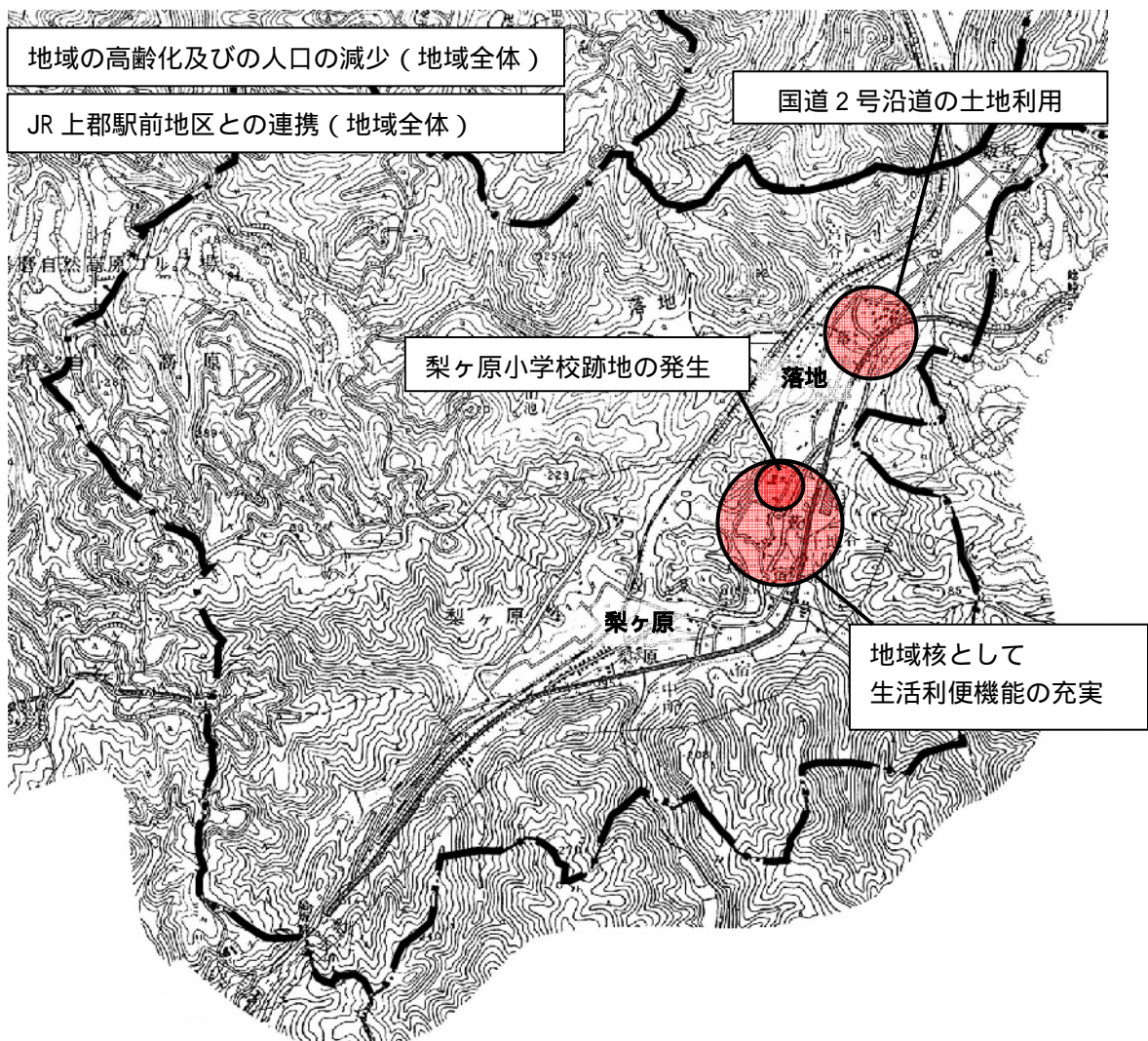
### 地域住民の意向 (H21年「将来のまちづくり計画策定に向けたアンケート調査」より)

住民意向	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の居住環境の満足度は低く、定住意向も低い。</li> <li>自然環境の保全意向は強いが、産業振興意向も強い。</li> <li>将来像は「健康福祉のまち」「産業のまち」が他地区より強い意向がみられる。</li> </ul>						
住み心地		地区	町平均	将来の土地利用		地区	町平均
	満足	4.3%	6.2%		自然環境を保全	37.9%	35.7%
	やや満足	7.8%	12.3%		商業地を増やす	21.4%	25.7%
	やや不満	20.7%	25.4%		工業地を増やす	28.2%	19.2%
	不満	14.7%	11.2%	住宅地を増やす	18.4%	19.0%	
定住意向		地区	町平均	地域の将来像		地区	町平均
	住み続けたい	37.8%	36.5%		健康福祉のまち	79.0%	68.1%
	できれば住み続けたい	28.6%	37.1%		環境保全のまち	44.5%	52.2%
	できれば移りたい	28.6%	20.1%		産業のまち	50.4%	39.2%
	他に移りたい	5.0%	6.3%	快適居住環境のまち	19.3%	26.1%	

### 地域の主要課題

- ・地域核として生活利便機能の充実
- ・国道2号沿道の土地利用
- ・JR上郡駅前地区との連携
- ・地域の高齢化及び人口の減少
- ・梨ヶ原小学校の跡地の発生

### 地域の主要課題図



【地域の将来目標】

豊かな自然や歴史とふれあうことができるまちの形成

基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道2号の広域幹線道路を活用した流通業務の立地促進により、活気あるまちを目指す。</li> <li>・国指定史跡「山陽道野磨駅家跡」を活用した歴史文化交流のまちを目指す。</li> <li>・特別指定区域制度を活用し、地域の活性化に必要な用地を確保することにより、集落地区の活性化を目指す。</li> <li>・公共交通の導入など、本地域とJR上郡駅前地区との有機的な連携を目指す。</li> </ul>
------	--

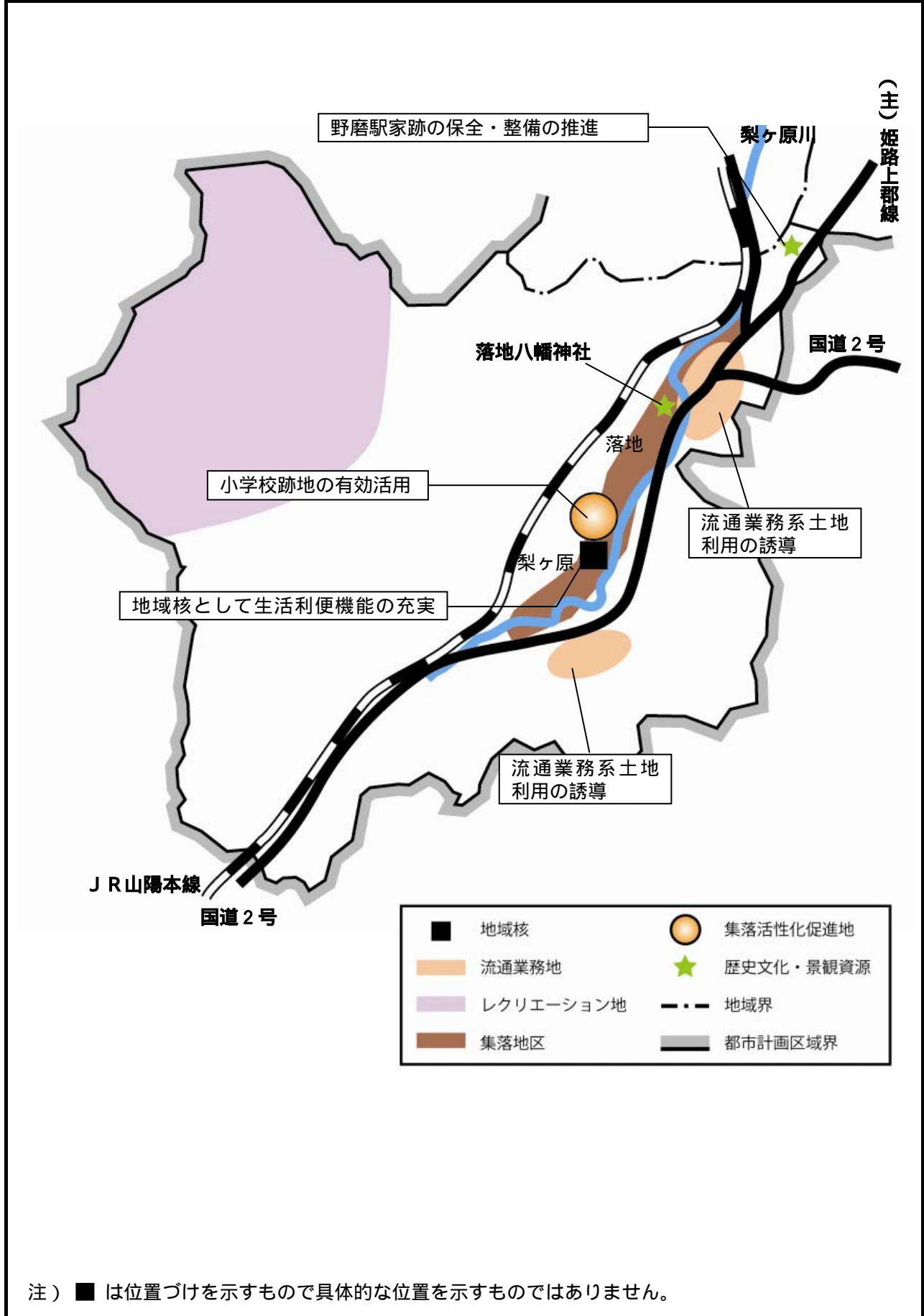
都市整備の方針

土地利用の方針	住宅地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落地区については、地域の活性化に必要な用地を確保することにより集落機能や集落人口の維持を目指す。なお、本地域における「集落地区」は次の自治会とする。 (梨ヶ原、落地)</li> </ul>
	商業地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域核である梨ヶ原地区において、生活利便機能の充実を図り、地域核としての機能強化を図る。</li> </ul>
	工業地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梨ヶ原地区、落地地区の国道2号沿道は、流通業務施設の立地誘導による流通業務系の土地利用を図り、地域の活性化を図る。</li> <li>・新たな工業系土地利用の導入については、住民意向、及び船坂地域における工業立地状況なども勘案して検討を行う。</li> </ul>
	レクリエーション地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・播磨自然高原船坂ゴルフクラブ及び南側に広がる別荘地については、自然に囲まれた保養レクリエーション地としての機能を維持できるよう適正な土地利用を図る。</li> </ul>
都市施設整備の方針	道路交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の生活利便性の向上を図るため、地域内生活道路の整備を図るとともに、地域とJR上郡駅前などを結ぶ公共交通の導入について検討する。</li> </ul>
	公園緑地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山陽道野磨駅家跡については、史跡としての公園化を進め、歴史にふれあう場として整備を検討する。</li> </ul>
	河川 下水道	-

その他の 方針	自然環境 歴史的環境 の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梨ヶ原川は、ホタルの生息環境の保全を図る。</li> <li>・梨ヶ原流域や周辺山林、田園等の自然環境の保全を図る。</li> <li>・山陽道野磨駅家跡は、史跡として保全・整備を推進する。</li> <li>・森林については、森林組合との連携を図りながら、適切な管理をするとともに、住民が森と緑を育てることで森林の保全意識の高揚を図り「災害に強い森づくり」を推進する。</li> </ul>
	景観形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山陽道野磨駅家跡は古代山陽道の重要かつ貴重な駅家跡であり、史跡周辺において史跡を一望できる眺望点を設定し、歴史的景観を享受できる場としての整備を図る。</li> <li>・国道2号については、県の「西播磨地域 地域景観マスタープラン」において「国道2号風景街道軸」に位置づけられたことから、沿道の景観形成を促進する。</li> <li>・地域の山並みや田園風景、梨ヶ原川の水辺空間を一体的な景観として保全と育成を図る。</li> </ul>
	都市防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の一時避難場所となる公園・広場の整備、充実を図る。</li> <li>・集落に近接し、山地災害の危険性が高い山腹崩壊危険地区、地すべり危険箇所などの整備を推進するとともに、開発行為の制限、指導・監視の強化に努める。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梨ヶ原小学校の跡地については、集落活性化促進地として位置づけ、地域の活性化に寄与する活用方法について検討を行う。</li> </ul>



まちづくり方針図

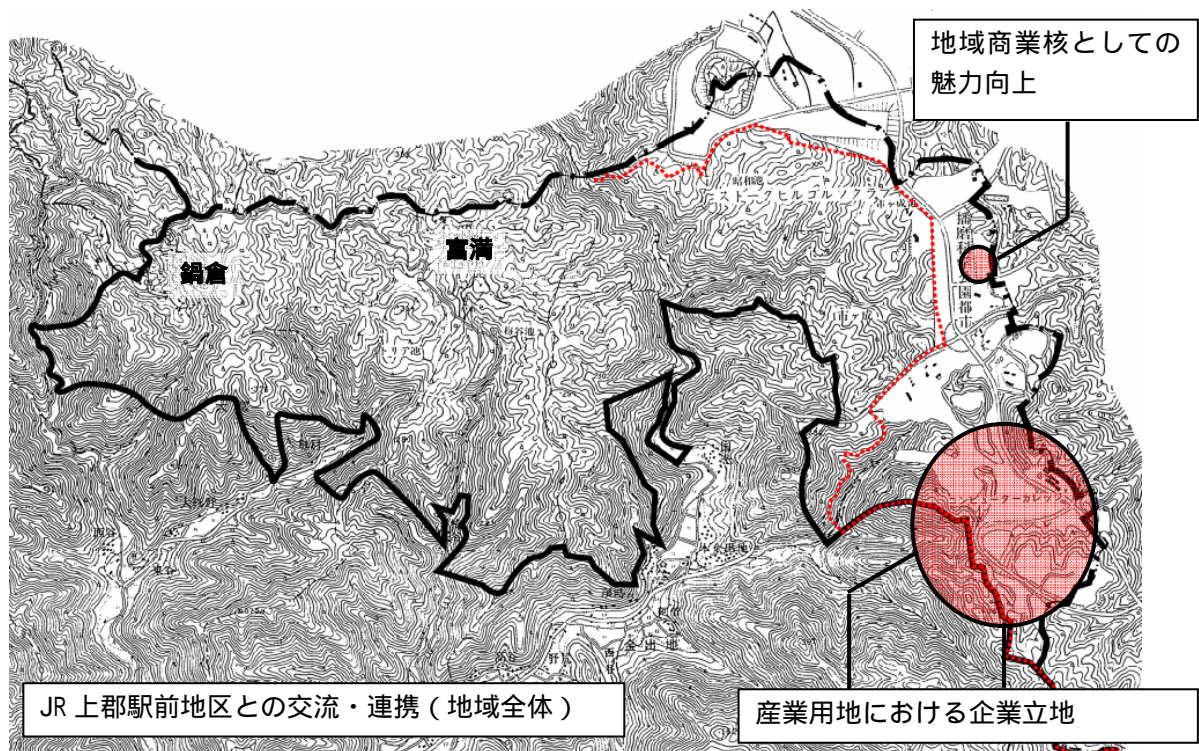


6 . 光都地域		地域区分	非線引き地域（用途地域指定）																	
地域の現況																				
<p>播磨科学公園都市は、豊かな自然環境のなか、21世紀の科学技術の発展を支える学術研究機関とナノテクノロジー分野をはじめとする「ものづくり」産業が集積するとともに、快適な居住環境や余暇機能などを総合的に備えた「人と自然と科学が調和する高次元機能都市」を目指し、昭和61年に建設が開始された。</p> <p>上郡町域では高層の県営住宅や県住宅供給公社による賃貸住宅が供給され、行政サービス機能を有する生活利便施設として光都プラザが立地している。</p>																				
地域の特性																				
人口動向	H8年から人口が伸びたが近年は横這い状態である。 (H21/H8 = 2.2)		<table border="1"> <caption>H21/H8</caption> <tr> <th>川西</th> <th>川東</th> <th>高田</th> <th>船坂</th> <th>梨ヶ原</th> <th>光都</th> <th>全体</th> </tr> <tr> <td>1.06</td> <td>0.74</td> <td>0.87</td> <td>0.88</td> <td>0.85</td> <td>2.17</td> <td>0.92</td> </tr> </table>				川西	川東	高田	船坂	梨ヶ原	光都	全体	1.06	0.74	0.87	0.88	0.85	2.17	0.92
川西	川東	高田	船坂	梨ヶ原	光都	全体														
1.06	0.74	0.87	0.88	0.85	2.17	0.92														
土地利用動向	用途地域が指定された区域内では工業系用地が約1/2を占めるが空閑地も目立っている。 上郡町域では、高層の賃貸住宅が立地している。																			
市街地整備	-																			
地区主要施設	都市計画施設	道路	新都市1号線、新都市2号線、新都市3号線																	
		公園	木戸口公園																	
	その他生活関連施設	鉄道駅	-																	
		公共施設 公共機関	兵庫県西播磨県民局、西播磨広域防災拠点、兵庫県教育委員会播磨西教育事務所光都教育振興室、播磨高原広域事務組合、にしはりま環境事務組合、行政サービスセンター、兵庫県立大学、兵庫県立大学附属高校、兵庫県立大学附属中学校、兵庫県立先端科学技術支援センター、播磨科学公園都市オプトピア、赤穂市消防署新都市分署、播磨光都サッカー場																	
		公益施設	西播磨光都プラザ郵便局																	
		歴史文化資源	-																	
	景観資源	-																		
地域住民の意向（H21年「将来のまちづくり計画策定に向けたアンケート調査」より）																				
住民意向	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の居住環境の満足度は最も低い。また、定住意向も最も低い。</li> <li>将来の土地利用では、住宅地増加の意向が強い。</li> <li>将来像では、「健康福祉のまち」の意向は他地区より低い。</li> </ul>																			
住み心地		地区	町平均	将来の土地利用		地区	町平均													
	満足	0%	6.2%		自然環境を保全	35.0%	35.7%													
	やや満足	12.5%	12.3%		商業地を増やす	5.0%	25.7%													
	やや不満	29.2%	25.4%		工業地を増やす	10.0%	19.2%													
	不満	29.2%	11.2%	住宅地を増やす	25.0%	19.0%														
定住意向		地区	町平均	地域の将来像		地区	町平均													
	住み続けたい	29.2%	36.5%		健康福祉のまち	48.0%	68.1%													
	できれば住み続けたい	25.0%	37.1%		環境保全のまち	44.0%	52.2%													
	できれば移りたい	33.3%	20.1%		産業のまち	32.0%	39.2%													
	他に移りたい	12.5%	6.3%		快適居住環境のまち	28.0%	26.1%													

### 地域の主要課題

- ・光都プラザの地域商業核としての魅力向上
- ・定住意向が低く、居住環境への満足度も低い住民意向
- ・産業用地における企業立地
- ・JR 上郡駅前地区との交流・連携

### 地域の主要課題図



【地域の将来目標】

豊かな自然に囲まれた都市的生活空間の形成

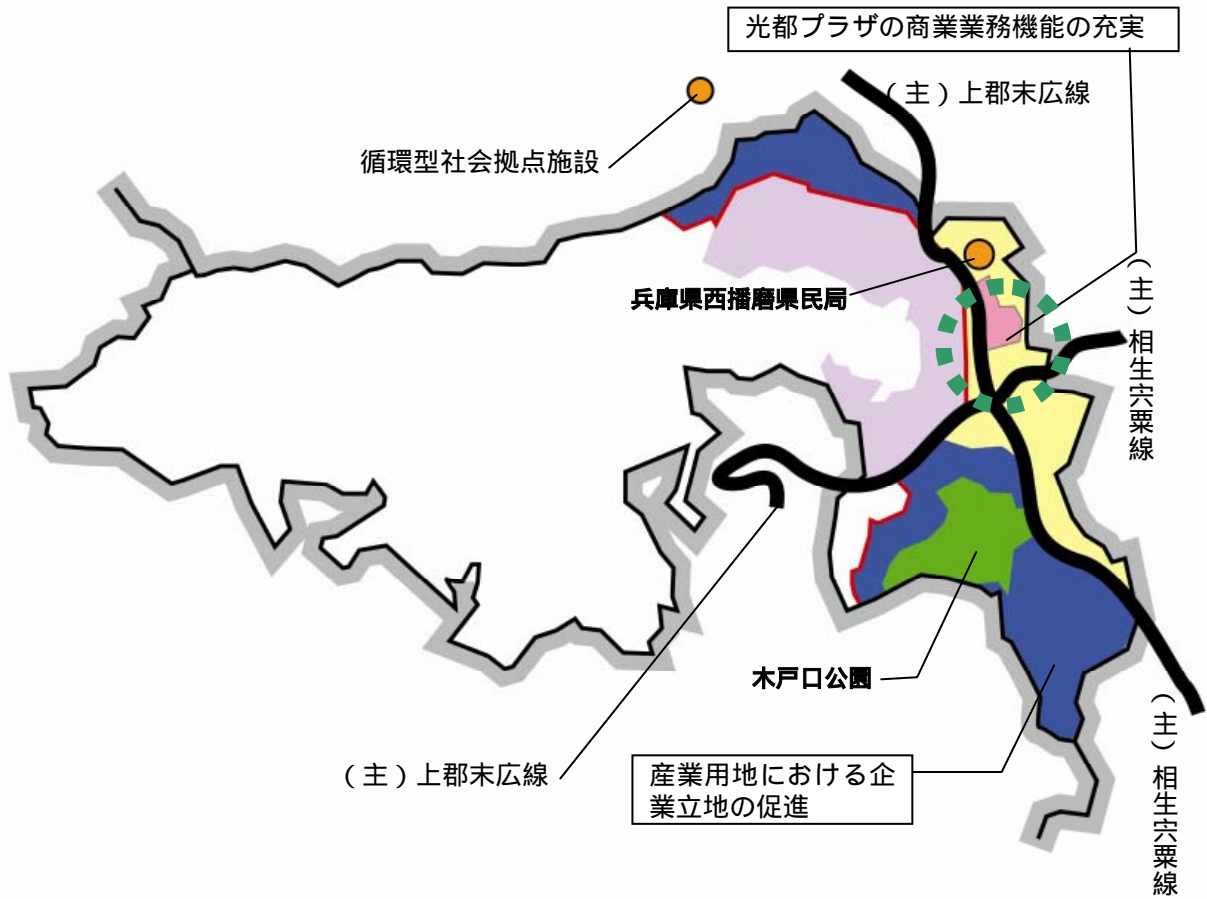
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・播磨科学公園都市の『時間とともに成長する森の中の都市』のコンセプトを継承し、魅力ある快適居住空間の形成を目指す。</li> <li>・地域商業核の商業業務機能の充実による定住環境の向上を目指す。</li> <li>・JR 上郡駅前地区との交流・連携による地域の活性化を目指す。</li> <li>・周辺の自然環境の保全育成を図り、光都地域における定住魅力の向上を目指す。</li> </ul>
------	--





都市整備の方針

土地利用の方針	住宅地	・用途地域指定地区については、用途地域に応じた土地利用を維持する。
	商業地	・「地域商業核」である光都プラザを中心に、商業業務機能を充実することにより生活利便性の一層の向上を図る。
	工業地	・産業用地の企業立地を促進し、先端科学技術産業によるまちの活性化を目指す。
都市施設整備の方針	道路交通	・本町の中心核である JR 上郡駅前地区との有機的な連携を推進するため、バスなどの公共交通の機能強化を検討する。
	公園緑地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レクリエーション活動やスポーツ等の余暇活動等に対応できるよう、県及び近隣市町と協議を行いながら整備を図る。また、サッカー場を中心に整備された木戸口公園については、関係者の協力のもと施設の良好な維持管理を図る。</li> <li>・関係機関と住民及び企業等の連携による緑地の保全・育成を推進し、人と自然と科学が共生する都市環境の形成を図る。</li> </ul>
	河川下水道	・既存下水道施設について、良好な維持管理に努め、施設や設備の長寿命化を図る。
	その他	・効率的なごみ処理体系の構築のため、循環型社会拠点施設の建設を推進する。

その他の 方針	自然環境 歴史的環境 の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・播磨科学公園都市を囲む自然環境の保全・育成を図り、豊かな自然環境に囲まれた都市づくりを目指す。</li> <li>・鞍居川流域や周辺山林等の自然環境の保全を図る。</li> </ul>
	景観形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・播磨科学公園都市アーバンデザインガイドラインを遵守し、地形や修景緑化、建築デザインなどを機能と景観の両面から一体的に整備することにより、快適な居住空間を確保する。</li> <li>・播磨科学公園都市第1工区の産業地区においては、地区計画やアーバンデザインガイドラインを遵守し、周辺環境と調和した良好な景観の創出を図る。</li> </ul>
	都市防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の良好なコミュニティの維持・強化を図り、地域防災力の向上による減災効果を高めるため、ソフト面の対策を推進する。</li> </ul>

まちづくり方針図



	地域商業核		公園・緑地
	複合住宅地		用途地域界
	近隣商業地		地域界
	レクリエーション地		都市計画区域界
	工業地		